

第 8 3 回 評 議 員 会 議 事 録

1. 日 時 2025 年 6 月 4 日 (水) 10 時 00 分～12 時 15 分
2. 場 所 原子力発電環境整備機構 12 階 大会議室
3. 出席者 大江俊昭、金谷守、小口正範、近藤寛子、崎田裕子、櫻本宏、城山英明、友野宏、長辻象平、西垣誠、林欣吾、東原紘道、細川珠生、山地憲治、四元弘子 各評議員
評議員会運営規程第 6 条に基づく出席：
山口彰理事長、阪口正敏副理事長、苗村公嗣専務理事、植田昌俊理事、坂本隆理事、柴田雅博理事、永吉光理事、松本真由美理事、田所創監事、滝順一監事、近藤駿介相談役、梅木博之顧問
経済産業省資源エネルギー庁放射性廃棄物対策課 横手広樹課長
(横手課長は議案 83-2「2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(案)」から出席。11 時 25 分に退席。)

本日の評議員会における評議員出席者は 15 名であった。このうち、四元評議員は Web 会議システムにより出席した。評議員会を構成する評議員(15 名)の過半数の出席があり、定款第 20 条第 6 項に定める開催・議決を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、大江評議員及び東原評議員を議事録署名人に指名した。

また、Web 会議システムについて、音声及び映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いに行える状態となっていることを確認して、審議に入った。

4. 配布資料

議案 83-1 役員の選任及び役員による兼職について(案)

報告 83-1 2024 事業年度 財務諸表等(案)

報告 83-1 参考資料 2024 財務諸表等(案)の概要

議案 83-2 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(案)

議案 83-2-1 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(1)対話・広報活動(案)

議案 83-2-2 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(2)調査・技術開発(案)

議案 83-2-3 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(3)組織運営(案)

報告 83-2 「北海道寿都郡寿都町及び北海道古宇郡神恵内村における文献調査報告書」についての意見の概要等の送付

報告 83-2 参考資料 寿都町及び神恵内村における文献調査報告書についての意見
の概要及び機構の見解(案)

議案 83-3 概要調査地区の選定及び実施計画の変更(案)

報告 83-3 機構業務に関連する最近の状況

定期監査結果及び意見書の提出について

第 82 回評議員会議事録

5. 議 事

(1) 審議事項①

○ 役員の選任及び役員による兼職について(案)

事務局から、議案 83-1「役員の選任及び役員による兼職について(案)」の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

また、兼職予定者 1 名*について、経済産業大臣に兼職承認申請を行うことが提案され、審議の結果、原案のとおり承認された。

(理事：遠藤和人
理事(非常勤)：安藤康志*
監事：小川祥直)

(主な意見等)

なし

(機構)

本議案について原案のとおり御承認いただき感謝申し上げます。今後、準備が整い次第、経済産業大臣への認可申請を行う。

(2) 報告事項①

○ 2024 事業年度 財務諸表等(案)

事務局から報告 83-1「2024 事業年度 財務諸表等(案)」の説明が行われた。

(主な意見等)

(評議員)

技術開発の予算執行率で 50%を下回るものが見られる。その原因として、実施取り止めや実施先送りが目立つように思うが、人員不足のような物理的な理由が根底に隠れているということはないか。

(機構)

最先端機器の開発にあたり、仕様の検討に時間を要したことや、競争性の観点からできるだけ多くの企業から技術に関する提案を頂くといった取組をしっかりと行ったこと

が主な原因であり、人員不足が原因という訳ではない。

(評議員)

広報関連費用が前年度より増加しているほか、2024年度の予算との比較でも増加している。社会の関心も高まってくるので、適切な支出となるよう取り組んでほしい。

(機構)

機構では費用対効果に留意しており、広告が実際にイベント等への参加に繋がった割合や、機構ホームページにアクセスしてからどの程度の時間とどまっていたか等を調査してきている。こうした取組により、効果的に予算を使っていく。

(3) 審議事項②

○ 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(1)対話・広報活動(案)

対話活動評価委員長から議案 83-2-1 「2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(1)対話・広報活動(案)」に基づき、対話活動評価委員会で取りまとめた評価・提言原案の説明が行われ、審議が行われた結果、原案の内容で承認された。なお、字句や表現の軽微な修正は議長に一任された。

(主な意見等)

(評議員)

今回の評価・提言案と機構の自己評価資料は若干構造が異なっている。評価・提言案では評価カテゴリーを 3 つに分け、①-1 と①-2 がある程度独立したものであると強調している。特定の現場で活動を進めていくことは大切だが、全国の御理解を得ていくことももう一つの重要な柱だ。両方をきちんと見ていくべきだという点は、この提言の一つの大きなメッセージになっているのではないかと。

(評議員)

機構の自己評価資料を見た際、時期的にも北海道に関する内容が主となっているが、対話活動評価委員会としては、北海道と全国を同等に区分してしっかり評価したいと考えた。

(機構)

昨年度の段階では、佐賀県玄海町での対話活動が具体化するところまで行かなかった面があるが、今後は頂いた御指摘を踏まえ、各地域での活動及び全国での活動についてもう少し整理して説明してまいりたい。

(評議員)

技術者としては、例えば、地震が起きて断層が処分地を直撃するような、普段起きないようなことまで想定してもなおかつ安全だと確信するから地層処分を妥当な方法と

みている。それでも研究開発を続けるのは、安全に対する確信の度合いを高めるためである。一朝一夕に全ての課題が解決するわけではないが、「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性 一 地層処分研究開発 第 2 次取りまとめ」(核燃料サイクル開発機構)の公表からすでに四半世紀が過ぎた。その間にかなり理解が進んでいるものもあるが、処分の安全性に対する一般の方の懸念が払拭できたわけではない。機構は、この四半世紀で確信度が上がっているとの発信が不足しているのではないか。

(評議員)

最終処分事業を進めていく上で、技術開発評価委員会を担当する職員と対話活動評価委員会を担当する職員が別々に活動しては効果的に事業を進めていくことはできない。機構内では色々議論しているのだと思うが、対話活動を行う職員には、様々な活動を進める中で感じた、より直接的な感触や疑問点等を評議員に投げかけてほしい。それは、評議員から提言するにあたり、非常に重要な情報になるのではないか。

(機構)

「特定放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針」の中でも、技術的信頼性に関する専門的な評価が国民に十分に共有されていないと指摘されており、機構としては、技術的な能力の向上に加え、技術的な信頼性を社会にお伝えする努力を進めていかなくてはならないと考えている。その一環として、対話・広報活動においてどのような御意見や評価を頂いており、どのようにお伝えしていくべきか、御助言いただきたい。

(評議員)

原案の内容は了承し、これを基本に、若干表現を工夫することにしたいと思う。字句や表現の軽微な修正については、最終的には一任いただくということによろしいか。

<異議なし>

○ 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(2)調査・技術開発(案)

技術開発評価委員長から議案 83-2-2「2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(2)調査・技術開発(案)」に基づき、技術開発評価委員会で取りまとめた評価・提言原案の説明が行われ、審議が行われた結果、原案の内容で承認された。なお、字句や表現の軽微な修正は議長に一任された。

(評議員)

(1) 対話・広報活動の評価・提言(案)と構成がやや異なるように見受けられる。

(機構)

構成については次回以降、委員長とも相談しながら対応してまいりたい。

(評議員)

地下水の問題は人間社会にとって非常に重要な問題である。地層処分の技術開発成果を他分野に展開することも念頭に、分かりやすく現状を整理し、広報していく努力が必要ではないか。

(評議員)

原案の内容は了承し、字句や表現の軽微な修正については、最終的には一任いただくということによろしいか。

<異議なし>

○ 2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(3)組織運営(案)

事務局から議案 83-2-3「2024 事業年度業務実施結果に対する評価・提言(3)組織運営(案)」に基づき、各評議員からあらかじめ意見の提出を受けて取りまとめた評価・提言原案の説明が行われ、審議が行われた結果、原案の内容で承認された。なお、字句や表現の軽微な修正は議長に一任された。

(主な意見等)

なし

(評議員)

原案を了承することとし、字句や表現の軽微な修正については、最終的には一任いただくということによろしいか。

<異議なし>

(4) 報告事項②

○ 「北海道寿都郡寿都町及び北海道古宇郡神恵内村における文献調査報告書」についての意見の概要等の送付

事務局から報告 83-2「『北海道寿都郡寿都町及び北海道古宇郡神恵内村における文献調査報告書』についての意見の概要等の送付」の説明が行われた。

(主な意見等)

(評議員)

北海道庁から出された意見書に対して、機構及び国は相互に十分コミュニケーションを取りながら、道庁の考え方を尊重した回答をしてほしい。

(機構)

北海道庁から出された意見書について、これをしっかり受け止め、回答してまいりたい。

(5) 審議事項③

○ 概要調査地区の選定及び実施計画の変更(案)

事務局から議案 83-3「概要調査地区の選定及び実施計画の変更(案)」の説明があり、審議が行われた結果、原案の内容で承認された。なお、字句や表現の軽微な修正及び国との調整に基づく趣旨に変更がない範囲の修正は議長に一任された。

(主な意見等)

なし

(6) 報告事項③

○ 機構業務に関連する最近の状況

事務局から報告 83-3「機構業務に関連する最近の状況」の説明が行われた。

(主な意見等)

なし

(機構)

皆さま、本日は、評価・提言に関する議案を御審議いただき感謝申し上げます。評議員会から頂いた2024事業年度業務実施結果に対する評価・提言については、取りまとめたものをホームページで公開するとともに、本年度の事業実施や来年度の事業方針の策定にしっかりと反映してまいりたい。

Web 会議システムにも終始異状なく、以上をもって議事の全ての審議及び報告を終了したので、議長は12時15分に閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及び結果を記録するため、本議事録を作成し、議長及び議長が指名した議事録署名人がこれに署名捺印する。

原子力発電環境整備機構
評議員会

議 長

友 野 宏 ⑩

議事録署名人

大 江 俊 昭 ⑩

議事録署名人

東 原 紘 道 ⑩